

## 情報通信業

社長含め社員全員がシステムエンジニアのIT企業

### 登録企業の声



本事業への登録は、  
若手人材の採用だけでなく  
定着にも効果があります

本社：港区  
従業員規模：50～100人  
奨学金返還助成額[うち企業負担額]：年50万円[年25万円]×3年  
専用枠(登録者を採用できる人数)：1年度当たり3名

### 本事業へ登録したきっかけについて、教えてください。

所属する業界団体から本事業について情報提供があり、本事業を知りました。新卒採用でのプラスになると思い、令和4年度から登録しています。

### 本事業をどのように活用しましたか。

新卒採用活動では、本事業の登録企業であることをあらゆる場面でお知らせしています。求人票はもちろん、パンフレットにも掲載しており、SNSでも発信しています。会社説明会でもお知らせしているので、就活生は登録企業とわかった上で選考に臨んでいます。面接の際に、奨学金返還支援事業について質問する学生も多いです。

### 本事業に登録してよかったと感じた点を教えてください。

お陰様で、毎年途切れることなく本事業の登録者が入社してきており、次年度もすでに対象となる学生が内定を承諾しているため、登録企業になるメリットは大きいと考えています。入社後1年経たないと返還支援が始まらないことや、最大3年間の助成を受けるためには継続して在籍する必要があるため、定着にも有効だと思います。以前は専門学校生の応募が比較的多かったのですが、この事業に登録してから大学生の応募が増えたので、その点もよかったポイントの一つです。また、この事業との関係性は不明ですが、大卒社員の離職も減っています。

### 研修・教育面でなにか工夫されていることなどはありますか。

入社後3か月間は、プログラミング未経験者には、文系・理系関係なく、Javaの基礎から研修を受講してもらいます。また、自己啓発として、eラーニングの環境も整えています。研修終了後は、OJT形式で、先輩社員がいつでもフォローできる環境でプロジェクトを担当してもらいますが、一人でできるようになるまでには、長い場合4、5年かかります。

### 登録を検討している企業の皆様へ、アドバイスををお願いします。

学生が奨学金の返還支援を希望した場合、内定期間中に自分でこの事業への登録を行う必要があるため、内定辞退になりにくいです。そうした点を考慮しても、この事業を取り入れて損はないと思います。

(注)

奨学金返還助成額[うち企業負担額]：次の①～③のうち、企業が登録申込時に希望する額を選択します。本事業では、企業の負担額と同額を東京都が負担し、東京しごと財団が奨学金貸与団体へ代理返還制度を活用した繰上返還により助成金を支出します。

①年10万円[年5万円]×3年、②年24万円[年12万円]×3年、③年50万円[年25万円]×3年

専用枠(登録者を採用できる人数)：登録企業が行う事業専用の若手技術者求人募集のことで、奨学金返還支援対象とする採用の人数をあらかじめ明示する必要があります。1年度当たり1社につき3名が上限です。



### 登録者の声



会社と東京都からの  
支援があると、  
働くモチベーションが高まります

採用職種：システムエンジニア  
入社年月：令和5年4月

### 本事業へ登録したきっかけについて、教えてください。

会社説明会に参加した際に、この事業の紹介があり、そこで初めて知りました。奨学金の返還を支援していただけるのであればと思い、登録しました。

### 就職先を最終的に決めた理由について、教えてください。

一番大きな理由は、説明会に参加した際に気軽に質問に答えていただけたところなど、会社の雰囲気と、業務内容です。この事業の登録企業であることも、就職先を決める理由の一つとなりました。

### システムエンジニアとして就職して、よかったと感じた点を教えてください。

未経験の状態から技術者としての経験を積んでいくことで、物事を違った視点で見ることができるようになりました。今まで触れてこなかった知識に触れられるようになったことも、自分の成長につながっていると感じています。また、システムが安定稼働している時は心が穏やかになるところも、システムエンジニアとして就職出来てよかったと思っています。

### 本事業について、どのようにお考えですか。

とてもいい事業だと思っています。最近のような物価高や不景気の経済状況で、奨学金の返還が残っていると、心が落ち着かなくなって、それが仕事に影響し、業務が滞る可能性もあります。しかし、このような事業があれば、安心して働き続けることができます。

### 登録を検討している大学生等の皆様へ、メッセージをお願いします。

自分の勤務先と東京都から奨学金の返還支援をしていただけたらと思うと、自身の働くモチベーションにもなりますし、仕事に取り組む姿勢も高まります。将来、奨学金の返還がどうなるのか、自分の場合は支援が必要なのかという点も考慮し、登録を検討するとよいと思います。